

アムリタの淫濁 （序盤サンプル／試し書きのほぼ直後から）

古来より、あらゆる犯罪と戦ってきた特捜機関、『古き讃歌』^{ブラス・ナース・ツティ}の一角。『夏陽の舞姫（サオールエ・ナティラーニー）』の二つ名を持ち、実働チーム内では切り込み隊長とも遊撃手とも目される軽快なフットワークで、至近距離まで引き寄せられてしまった分の間合いを突き離そうとしながら、マハは眉を怒らせて淫惨な現場を目の端に捉えた。

（マハが、どうナタテ、この人達は助けて見せます！）

ここは聖アムリタ学園の保有する豪華宇宙客船「アムリタの乙女」の内部、無憂樹^{むゆうじゆ}の生い茂る、桃色の花崗岩^{かこうがん}で内装の統一された、女性用の大浴場だ。ちよっとしたグラウンドに匹敵する程の空間を与えられている、女生徒達の憩いの場であつた。

三日前、このエイリアンの襲撃を受ける前までは。

本来なら、一日の学課を終えた彼女達が身を清めつつ、お喋りの花を咲かせていたであろう、この時間。だがしかし、今は、襲撃者の魔手に囚われた褐色の裸身達が、大きく腿を広げて一糸纏わぬ姿で嘆き悶える、淫らの湯園と化していた。濃淡取り取りのココア肌を誇る美少女達が、爛れた自流行為へと追いやられているのだつた。

——ゆぎにいいいっ！ ろめんらいっ ろめんりやらひいいいっ！！

——ふああ……あ……ッ……はああアアツッ!! くオ……オ……ホおおおツッ!!

——イイツ、イイツ、イイイイツ!! つ！ はひっ!! ひ……ひうう……え、ひうう
っ……っつ！ ヒ……きひ……許ひて……もう許ひてええええっつっ!!

バスタオルを巻いて入浴中だった少女が、湯船に沈ませた両腕で何かを激しく掻き篦りながら、火照り切った頤^{おとがい}を床と一続きの大浴槽の縁から投げ出し、はだけた豊かな胸を滑らかな直角の岩縁^{いわべり}へと押しつけて官能に絶息させている。脱衣所で半脱ぎだった所を引き摺り込まれた少女が、粘液に塗れた衣服の袖をロープのように使つて股間を擦り立てては狂おしく泣き叫ぶ。全てが悶え、自慰に悩乱していた。

哀れな虜囚らの股間にうつすらと萌ゆる手入れの行き届いた叢。その下の尿道口には、例外なく、一匹の奇怪な蚯蚓^{みみず}が頭を潜り込ませていることだ。先程マハの排泄孔に押し入ろうとしたのと、万年筆程度の長さで独立行動をしている以外は、同種の個体である。そこから分泌塗布される、人類には抗いようもない媚薬粘液によつて、腰をグズグズに蕩かし墮とされているのだつた。

——ろうっ、してええええッッ、あしよこと指っ、離^{はにや}れないらあああああ……っつ!!

——だれ、か……っ、たしゅ……くだら、らあい……止^{とど}めへええ……わら、狂^{くる}っひや……

……ハア、ん、あ、あは、は、あ、ああ……ンヒッ！

——しゅごっつ、ひのおおおっつ!! ひも、ろおっ！ ひもちっ、いいよおおお!!

そこかしこから甘く悲痛な嬌声が湧き起こり、湿度の高い暖かな岩室^{いわむろ}にくぐもつて響く。殆どが、大胆な『双掌オナニ^{アシユウイン・ヴァーリ}』だ。両手を前から被せられた女陰^{ヨーニ}が興奮に充血し切り、

湯気を立てて悦楽の雌^{めたけ}叫びを上げ続けている。選りすぐりの赤粒達が双掌の下でヌラヌラと跳ね狂い、十指を突き込まれた真っ赤なアショーカの花弁がクパクパと喜悦に喘ぐ。

——ムツチョムツチョ、ズミツ、モムンモムユツ、デュグルルッン!!

激しく上下する指の隙間から見え隠れする蚯蚓達が、可憐な泌尿器を制圧した勝利に沸き立ち、あたかも尿道を犯すかの如く淫首を振って狂騒を煽っていくことだ。

——フウウウ……ツツ、汚い、のよつ、蟲なんて……! 抜けな、さつ、抜け……ツ……ひ、嫌つ、嫌ああつつ!! あ、あ、あ、クル……つ、気持ち悪いっおそそ燃えちゃうつ気持ち悪いっおそそ燃えちゃうつつつ、ためにやりよにひいひいッツツ?!!

——お母様あ、お赦しを……つ、お母様ああ……つつ! お小水の穴、処女を奪われて……っ! わらくひ、もうコレと結婚いたしますう入籍いたしますうう!! ……うふ、うふふッ、もつと……もつろおおオ、めちやつ、目茶^め苦茶^{くら}にしてへえええええ!!

——降ろうしてええええええつつつ!! ここからっここからッツ!! イキイイイ!? イキイイイッキイイイイイッツ! イキイ——イイイ——ッツツ!!

たった一匹の蚯蚓によって、人間としての尊厳を全てかなぐり捨てさせられている。

「この淫魔! なんダテこんなことするです!」

「決まってるよう! お前等が可愛くって大切だからだよ! だから、宇宙中に通用するように、このペチュランズユ様が品種改良してあげるんだよ! 地球人種はアチキの美意識にじっくり来るんだよ! それを他の奴らにも分らせてやるよう! 沢山芸を覚えさせたら、きつときつと大人気になるんだよ!」

「邪悪……!!」

無悪意の暴力に晒され、未来に花開くべきアムリタの乙女達が肉欲に墮とされていく様の、痛ましき。今にも手を差し延べたくなるのを懸命に堪えて、マハ・アディーニは異星人との対峙を続けなければならない。

【途中省略】

「お嬢様達の研修旅行に、アチキが課外講習をプレゼントしたげるよう! 性調育だよ! アへ顔耐久レッスンに、オナニー指導! お前も観念して受けて行けよう!」

「マハはこの船を守る最後の砦! 決して暴力邪淫には屈^クしません!!」